

平成22年度「あやせ地域支えあいサポーター研修」実施要領

1 目的

綾瀬市においては地区社会福祉協議会（地区社協）が中心となり小地域福祉活動を推進しているが、地区社協における実践リーダーや担い手が不足しているため、具体的な個別支援活動が停滞している現状がある。

そこで、地区社協において活動している関係者のスキルアップを行い、実践リーダーを養成すること、また潜在している担い手を発掘し、地区社協活動への参加を促し、地域福祉活動の実践者を増やすことを目的として開催する。

2 効果

- (1) 地域における助け合い活動の必要性や楽しさを学ぶことができる。
- (2) 個々の経験や能力を活かして、自らも生きがいを持てる。
- (3) 地区社協活動の実践者を増やすことができる。
- (4) 援助活動における基礎知識やマナーを知ることができる。
- (5) 具体的な活動のプログラムを企画・実践することができる。
- (6) 受講修了者同士のつながりから、地区社協間の連携が密になる。
- (7) 様々な社会資源を知ることにより、要援護者の相談に対応できる。

3 主催 社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会

4 後援 綾瀬市

5 協力（順不同）

綾瀬市障害福祉課、高齢介護課

道志会老人ホーム 老人ホーム泉正園 介護老人保健施設メイプル

綾瀬ホーム さがみ野ホーム 貴志園

茅ヶ崎市湘北地区社会福祉協議会 地域活動支援センターファミリー

ワーカーズコレクティブすきっぷ

6 定員 30名

- (1) 地区社協に依頼
- (2) 広報紙「広報あやせ」10月1日号で募集

7 参加費 無料

8 特別聴講 4日目（現場実習）を除き、平成21年度の受講生の聴講を認める（1日あたり保険代・資料代として300円の参加費を徴収する）

9 内 容

	テーマ	具体的な内容	所要時間	講師
1 日目 平成 22 年 10 月 25 日(月) 6 階視聴覚室	開講式 9:30～10:00	○ 開講あいさつ ○ オリエンテーション	0.5 時間	社協職員
	地域福祉概論 10:00～12:00	○ 地域福祉が求められる背景 ○ 地域における福祉人材の確保の必要性	講義 2 時間	中村美安子氏 (県立保健福祉大学准教授)
	福祉マップ作り 13:00～15:30	○ 福祉マップ作成	演習 2.5 時間	木原孝久氏 (住民流総合研究所所長)
2 日目 平成 22 年 11 月 1 日(月) 3 階 315 会議室	社会福祉援助技術論① 10:30～12:00	○ 権利擁護、秘密保持	講義 1.5 時間	千木良 正氏 (弁護士)
	社会福祉援助技術論② グループワーク 13:00～15:30	○ ソーシャルワーク ○ ケーススタディ (身近な事例検討)	講義 1 時間 演習 1.5 時間	高橋幸三郎氏 (東京家政学院大学教授)
3 日目 平成 22 年 11 月 8 日(月) 6 階視聴覚室	コミュニケーション技術 9:30～12:30	○ 面接、傾聴、話し方 ○ コミュニケーション技術の演習	講義 1 時間 演習 2 時間	大島 武氏 (東京工芸大学准教授)
	福祉サービス論 13:15～14:05 14:10～15:00 市社協活動紹介 15:05～15:55	○ 介護保険、障害者自立支援法の理解 ○ 社協活動紹介	講義 2.5 時間 (40分×3)	高齢介護課 障害福祉課 社協職員
4 日目 平成 22 年 11 月 15 日(月) ～19 日(金)	現場実習	○ 老人ホーム、知的障害者施設等での体験 ※一施設 6～7 名	体験 1 日 (6 時間程度)	道志会老人ホーム 老人ホーム泉正園 メイプル 綾瀬ホーム さがみ野ホーム 貴志園
5 日目 平成 22 年 11 月 22 日(月) 9:30～12:00 13:00～15:00 6 階視聴覚室	地域の活動紹介 9:30～10:20 10:25～11:15 11:20～12:10	○ 地区社協、NPO、施設等の活動を紹介	活動報告 2.5 時間 (40分×3)	茅ヶ崎市湘北地区社協 Woc.すきっぷ 地活 C ファミール
	まとめ 13:00～15:00	○ 反省・感想	グループワーク 2 時間	社協職員
	修了式 15:00～15:30	○ 修了証書授与	0.5 時間	社協職員
計			25 時間	